

「車いす利用者おでかけマップ」作成事業について

車いす利用者おでかけマップ作成実行委員会

(1) 共働のきっかけ・必要性

多くの車いす利用者は、出かける前に目的地のバリアフリー情報を必要としている。しかし、バリアフリーに関する情報は社会的に不足しており、情報を得られないことで出かけることをあきらめてしまう人がある。福岡市ではバリアフリーに対応した施設や店舗情報の一部をホームページ上で公開しているが、施設や店舗までのアクセス方法や詳細なバリアフリー情報は掲載されていない。また関係局には、車いす利用者から市内観光地等についての問い合わせが寄せられているが、情報不足により十分な対応ができていない現状があった。



(2) 事業目的

車いす利用者の視点に立った市内観光地等へのアクセスマップを作成・配布することにより、車いす利用者の福岡市来訪の機会拡大と市内在住の車いす利用者の外出支援を図り、バリアフリーの観点から「ユニバーサル都市・福岡」の理念を実現する。また、ソフト面（心・人的サービス）のバリアフリー啓発のために、作成したマップを活用したモニターツアーなどを企画・実施し、その成果を検証する。

(3) 事業内容

【①車いす利用者の視点に立った市内観光地等へのアクセスマップの作成・配布】

福岡に住む車いす利用者やその家族と一緒に作り上げる。その方法として、掲載店舗や観光施設の選定に際し、車いす利用者やその家族へのアンケートを行う。また、アンケートに協力してくれた人と、調査ツアーを実施し、アドバイスをもらうなど、車いす利用者の視点を多く取り入れ、多くの車いす利用者にとって有益な情報を掲載する。

《事業目標》

- ・車いす利用者の視点に立った市内観光地等へのアクセスマップの作成
- ・福岡市内のホテル、観光案内所、観光施設等へのマップの設置
- ・福岡市政だより、福岡市やNPOのホームページ、SNSを通してマップの情報発信

《事業成果》

・マップの設置や情報発信によって、多くの人がマップを手にとることができ、福岡市内外に住む車いす利用者の外出支援につながる



【②行政と協力したモニターツアーの開催】

作成したマップを使い、車いす利用者と健常者が街歩きをするイベントを開催する。健常者は車いすに乗車し、自走や他の参加者の移動を介助したり、介助されたりしながらツアーに参加する。ツアーでは車いすの操作方法など簡単なレクチャーを行い、ソフト面（心・人的サービス）のバリアフリー普及に取り組む。また、ツアー終了後、アンケートに協力してもらい、事業の重要性、ツアーの満足度、マップの有益性、バリアフリーの理解度について評価を行う。

《事業目標》

- ・モニターツアーの開催（計20名の参加者を見込む）

《事業成果》

・ハード面、ソフト面含め、バリアフリーについて、学習の契機となり、障がいへの理解が深まる



※イメージ

(4) NPOと市の役割分担

【保健福祉局政策推進課・経済観光文化局観光産業課】

○関係団体との調整

- ・障がい者団体へのアンケートやモニターツアーへの参加、協力依頼
- ・観光施設、公共施設などへのバリアフリー調査依頼、撮影依頼、撮影の同行、掲載許可依頼
- ・マップ掲載施設の検討

○広報

- ・市政だより、ユニバーサル都市・福岡フェスティバル 2017 へのモニターツアー参加者募集の記事掲載
- ・福岡市ホームページへのマップ掲載
- ・官公庁舎、観光協会、ホテルなどへのマップの設置

【NPO法人あすも特注旅行班】

○バリアフリー調査と撮影

- ・掲載許可が得られた施設などへ、当事者目線に立ったバリアフリー調査と撮影

○スケジュール作成と各種企画

- ・撮影スケジュールやモニターツアーのスケジュール調整
- ・障がい当事者との意見交換会の企画、実施、モニターツアーの企画

○広報

- ・全国にある介護付き旅行会社やバリアフリースーツアーセンターへのマップの配布
- ・ホームページやSNSへのマップの掲載

【NPO法人福岡市障害者関係団体協議会（協力団体）】

○会員への協力依頼

- ・車いすを利用している当事者団体へアンケートの協力依頼とアンケート用紙の配布
- ・車いすを利用している当事者団体へ意見交換会への参加依頼



(5) 担当者の声・市民の声

車いす利用者と健常者を対象に、マップについての意見交換会をすでに2回実施した。参加者は延べ40名を超え、当マップについての必要性についてアンケートを取ったところ、約85%の人が必要性を感じると答えた。また、マップに掲載したい観光施設を聴取するアンケートを、車いす利用者およびその家族に依頼したところ、約46%から回答があり、関心の高さニーズの高さ、そして当事業への期待を感じた。



(6) 30年度への展開

<共働事業終了>

マップを活用した街歩きツアーをNPO独自で開催し、マップの広報を行っていくとともに、ソフト面（心・人的サービス）のバリアフリー普及を目指す。